

使用上の注意改訂のお知らせ

活性型ビタミンD₃製剤
アルファカルシドール

アルファカルシドールカプセル 0.25 μ g「フソー」
アルファカルシドールカプセル 0.5 μ g「フソー」
アルファカルシドールカプセル 1.0 μ g「フソー」

この度、標記製品の使用上の注意を改訂しましたので、お知らせ申し上げます。

2024年2月

製造販売元



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

1. 改訂内容（自主改訂：_____部変更）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マグネシウムを含有する製剤 酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム等	高マグネシウム血症が起きたとの報告がある。	<u>他のビタミンD誘導体と同様に腸管でのマグネシウムの吸収を促進させると考えられる。</u>	マグネシウムを含有する製剤 酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム等	高マグネシウム血症が起きたとの報告がある。	<u>不明である。</u>
	<u>ミルク・アルカリ症候群（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれるおそれがある。</u>	<u>血中マグネシウムの増加により代謝性アルカローシスが持続するため、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。</u>			
(省略)			(省略)		
PTH製剤 テリパラチド等 PTHrP製剤 アバロパラチド酢酸塩	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	相加作用による。	PTH製剤 テリパラチド	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	相加作用による。

2. 改訂理由

同一成分薬の症例集積に基づき、「相互作用（併用注意）」の項を改訂しました。

3. 本情報は医薬品安全対策情報(D S U)No. 324 に掲載予定です。

☆添付文書情報は、「医薬品医療機器総合機構ホームページ(URL: <https://www.pmda.go.jp/>)」及び「弊社ホームページ(URL: <https://www.fuso-pharm.co.jp/>)」においてご確認ください。
スマートフォン等モバイル端末からは、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」をダウンロードし、GS1 バーコードを読み取ることで最新の電子添文を閲覧できます。



【本件に関するお問い合わせ先】
扶桑薬品工業株式会社 安全管理統括部
TEL 06-6969-1131 FAX 06-6969-3139